

事務事業名	中学校空調設備整備事業				担当	教育委員会 学校教育課 施設係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-8182	
施策名	02	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	学校教育法第5条					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）	
予算科目	1.一般会計	10.教育費	3中学校費	1学校管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 24 年度～ 26 年度）		
事業概要	市内9中学校施設について、安全・安心な管理運営をするため、普通教室に空調設備を設置し、良好な学習環境の整備を図る。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 空調設備整備工事及び監理業務 全中学校（山前中学校を除く）  27年度計画 空調設備整備事業は26年度までの事業	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：整備に要した額	千円	-	1,134	22,586	265,267	-
	イ：空調整備新設教室数	室	-	-	12	97	-
	ウ エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中学校施設（普通教室） 未整備普通教室数 未整備中学校 9校	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：未整備普通教室数	室	-	109	97	0	0
	イ ウ エ オ						
	③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 良好な学習環境	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移					
名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
ア：整備率（空調設備新設室数/未整備普通教室数）		%	-	-	11.0	100.0	100.0
イ ウ エ オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 安全・安心な施設の運営		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移					
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：学校の施設・設備の充実度に満足している保護者の割合	%	-	56	-	66	-
	イ ウ エ オ						

(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	6,200	65,702	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	3,700	146,400	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	1,134	12,686	53,165	0	
	事業費計(A)	千円	0	1,134	22,586	265,267	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	0	0	96	344	0
		人件費計(B)	千円	0	0	390	1,452	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,134	22,976	266,719	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	近年の猛暑による教育環境の実態に基づき、平成25年度に小学校（大内中央小学校）、中学校（山前中学校）各1校を試験的に普通教室に空調設備を新設し、その結果を踏まえ順次整備を予定している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	これまで職員室、保健室、図書室、パソコン教室の空調設備整備を図って着ました。近年の異常気象による猛暑の対策として、児童生徒に水筒を持参させたり、服装を運動着に着替えたり、扇風機を使用するなど対応してきましたが、児童生徒の健康と学習環境の向上を図るため、平成25年度に試験的に小中学校各1校に空調設備の整備を実施し、教育環境の充実を図っている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	生徒児童の健康と快適な学習環境が確保される。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 安全安心な教育環境づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 安全・安心な教育環境づくりは、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 中学校の施設(普通教室)であり、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 年次計画により実施しており、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 児童生徒の健康で快適な学習環境が確保できなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 学習環境の充実のためには、必要な経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 快適な学習環境整備の事業であり、削減はできない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校教育法第5条により、受益者が負担するものではない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 平成26年度までに完了した事業である。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							